

養育費等に関する申告書

○前年（1月～12月までの1年間）に受け取った養育費について、記入要領に従って記入してください。

年分【離婚月： 年 月（前年中に離婚した場合のみ記入）】

養育費支払者氏名	受取人	養育費の額	受 取 状 況	
			内 訳	
	父・母 児童		内 訳	
			受取 方法	
	父・母 児童		内 訳	
			受取 方法	
	父・母 児童		内 訳	
			受取 方法	
	父・母 児童		内 訳	
			受取 方法	
合 計				

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏名 _____

※該当事由	<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 未婚以外	※認知の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
※受付年月日	令和 年 月 日	※区役所担当者名	⑩

- (注)離婚の場合は「離婚日」以降、未婚の場合は「子の誕生日」以降に受け取った養育費について記入してください。
1. 認定請求の際に本申告書を提出する場合において、前年（1月から9月までの間に請求する方は、前々年とします）中に支給要件に該当するようになった場合は、その支給要件に該当するようになった日以降に受け取った額を記入してください。
 2. ※の欄は記入する必要はありません。
 3. 養育費の8割を所得金額に合算し手当額を算出します。

養育費等に関する申告書の記入要領

1 この申告書の目的・趣旨

この申告書は、受給者が母である場合には児童の父から、受給者が父である場合には児童の母から前年に養育費を受け取っているのかどうか、さらに、受け取っている額を確認するためのものです。

2 養育費とは

養育費とは次の要件のすべてに当てはまるものをいいます。

- ① 児童扶養手当を受給している母が監護している児童の父が払ったものであること。
- ② 児童扶養手当を受給している父が監護し、かつ、これと生計を同じくする児童の母が払ったものであること。
- ③ 金品等の受取りの名義人が、受給者が母である場合には母若しくは児童、又は受給者が父である場合には父若しくは児童であること。
- ④ 父から母若しくは児童に、又は母から父若しくは児童に給付されたものが、金銭、有価証券(小切手、手形、株券、商品券など)であること。
- ⑤ 父から母若しくは児童へ、母から父若しくは児童への給付が、手渡し(代理人を介した手渡しを含む。)、郵送、母、父名義又は児童名義の金融機関の口座への振込みであること。
- ⑥ 「養育費」、「仕送り」、「生活費」、「自宅などローンの肩代わり」、「家賃」、「光熱費」、「教育費」等、児童の養育に関係のある経費として支払われていること。

※次のようなものは養育費には含まれません。

- 児童扶養手当を受給している母親が監護している児童の父親以外から支払われたもの。
- 児童扶養手当を受給している父が監護し、かつ、これと生計を同じくしている児童の母以外から支払われたもの
- 母、父又は児童以外の者が受け取っているもの。
- 支払われたものが、不動産(土地、建物等)、動産(車、家財道具等)の場合。
- 支払方法が、母、父又は児童以外の者への手渡し、郵送、口座振込によるもの。
- 「慰謝料」、「財産分与」として支払われるもの。

〈注〉 1. 受給者が未婚の母親である場合

父親が児童を認知しており、かつ、上記①～⑤に当てはまる場合「養育費」に該当します。

2. 自分の子だけでなく、他の子も養育している場合

自分の子の養育に必要な費用を受け取り、それが上記①～⑤に当てはまる場合「養育費」に該当します。

◎ 養育費かどうかわからない場合は、区役所の担当者にお尋ねください。

3 養育費について

- ・ 前夫又は前妻(児童扶養手当の支給対象となっている児童の父又は母。以下同じ。)から前年(1月から12月までの1年間。ただし1月から9月までの間に請求する人の場合には、前々年をいいます。)に、受給者又は児童が受け取った金品その他の経済的利益(以下「養育費」といいます。)がある場合には、その額を記入してください。
- ・ 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので正確に申告してください。
- ・ 養育費支払者氏名欄には、養育費を支払っている前夫又は前妻の名前を記入してください。
- ・ 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入してください。また、養育費支払者氏名欄は、前夫又は前妻の名前を記入してください。
- ・ 受取状況欄の内訳には、次の例に従って記入してください。

【例1】 毎月5万円で12カ月受け取っている場合には、「月々5万円、12カ月分」と記入してください。

【例2】 4月、8月、12月の3回に、それぞれ1万円、3万円、5万円を受け取っている場合には、「年3回1万円、3万円、5万円」と記入してください。

【例3】 年に1回受け取っている場合には、「年1回」と記入してください。

- ・ 受取状況欄の受取方法は、「受給者名義の金融機関口座振込」や、「児童名義の金融機関口座振込」、「現金手渡し」等と記入してください。